

第28回 格子欠陥フォーラム

「格子欠陥研究における理論・実験・計算の最前線」

主催：日本物理学会・領域10「格子欠陥・ナノ構造」分科

日程：2018年9月7日(金), 8日(土) (2日間)

場所：大阪大学吹田キャンパス 材料開発物性記念館研修室

[アクセス] ・阪急千里線北千里駅で下車, 徒歩15分

・大阪モノレール阪大病院前駅で下車, 徒歩15分

・地下鉄御堂筋線千里中央駅から阪急バス阪大本部前行または茨木美穂ヶ丘行に乗車し阪大本部前で下車, 徒歩5分

※アクセスマップ(<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access.html>)

※キャンパスマップ(<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access.html>)

材料開発物性記念館はキャンパスマップ上の「R4」です。

趣旨：優れた構造材料や機能性材料を創製するためには、材料内部の格子欠陥の振る舞いを正しく理解し、材料物性に対する欠陥の役割を解明することが不可欠です。近年の格子欠陥研究では、計算機性能の飛躍的な向上や観察技術の発達、数理的・統計的な基礎理論の発展などに伴って、新しい挑戦的なアプローチからの研究が展開されています。今回のフォーラムでは、理論・実験・計算のそれぞれから独創的な研究を進めている第一線の研究者の方々を講演者にお招きし、講演を依頼致しました。参加者との議論を通して、格子欠陥研究のさらなる発展につながる機会とすることを目指します。

定員：50名程度 (申込先着順)

参加費：無料

懇親会費(希望者のみ)：5,000円

申込締切日：2018年8月31日(金)

申込方法：表題を「格子欠陥フォーラム申込」とし、本文に

「①お名前, ②ご所属, ③一般または学生の別, ④連絡用E-mailアドレス, ⑤懇親会ご参加の有無」を明記して、下記連絡先(matsunaka[at]shinshu-u.ac.jp)宛にE-mailによりお申込みください。

連絡先：〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

信州大学工学部機械システム工学科

松中 大介

E-mail: matsunaka[at]shinshu-u.ac.jp [※ご送信の際は[at]を@に変えて下さい。]

企画・運営：日本物理学会・領域10「格子欠陥・ナノ構造」分科

運営委員 松中 大介 (信州大学), 佐藤和久 (大阪大学)

<http://www.r10.div.jps.or.jp/LatticeDefect/>

プログラム

2018年9月7日(金)

- 12:40-12:50 開会挨拶
- 12:50-13:40 屋代 如月 (岐阜大学)
「原子弾性剛性係数の固有ベクトルによる不安定モード解析」
- 13:40-14:30 岩下 拓哉 (大分大学)
「ガラスと液体の素励起に関する物理」
- 休憩(10分)
- 14:40-15:30 垂水 竜一 (大阪大学)
「非局所弾性体の数理とその格子欠陥力学解析への応用」
- 15:30-16:20 弓削 是貴 (京都大学)
「配位空間上の幾何学から再構築する統計力学と材料科学への応用」
- 休憩(10分)
- 16:30-17:20 木村 耕治 (名古屋工業大学)
「蛍光X線ホログラフィー：不純物まわりの原子配列イメージング」
- 17:20-18:10 吉田 健太 (東北大学)
「電子線/アトムプローブトモグラフィーを駆使した中性子照射誘起格子欠陥のひずみ/組成の3次元定量」
- 18:30-20:30 懇親会 (会場付近)

2018年9月8日(土)

- 9:30-10:20 尾澤 伸樹 (東北大学)
「化学機械研磨プロセスにおけるマルチフィジックス現象の計算科学シミュレーションによる解明」
- 10:20-11:10 峯田 才寛 (弘前大学)
「マグネシウム合金における変形能と活動する塑性変形機構の関係」
- 11:10-12:00 嶋田 隆広 (京都大学)
「ペロブスカイト型酸化物における格子欠陥の破壊と電子物性に関する第一原理解析」

12:00-12:00 閉会挨拶

備考:

- ・ 宿泊,食事等につきましては参加者様ご自身でご手配頂きますようお願い致します.
- ・ やむを得ない事情によりプログラムに変更が生じる場合もございます.予めご了承下さい.

以上